

表1 平成7年度進路状況(公立全日制)

就職者には就職進学者、就職入学者を含まない()は前年度

学科別	区分 性別	卒業者数	大学など 進学者数	大学など 進学率	就職者数	就 職 者 の 割 合	専修学校な ど入学者数 (予備校を 含む)	専修学校 など入学率	無 業 者 の 他	再 掲	
										就職進 学者数	就職入 学者数
普通科	男	6,439	2,330	36.2 (33.2)	1,529	23.7 (24.9)	2,125	33.0 (35.0)	455	1	17
	女	7,274	2,828	38.9 (40.1)	1,761	24.2 (23.4)	2,118	29.1 (29.5)	567	20	142
	計	13,713	5,158	37.6 (36.9)	3,290	24.0 (24.1)	4,243	30.9 (32.1)	1,022	21	159
農業科 産科	男	1,051	39	3.7 (3.7)	815	77.5 (77.9)	157	14.9 (14.7)	40	1	4
	女	364	17	4.7 (5.9)	233	64.0 (75.3)	67	18.4 (12.6)	47	3	15
	計	1,415	56	4.0 (4.2)	1,048	74.1 (77.3)	224	15.8 (14.2)	87	4	19
工業科	男	2,760	228	8.3 (7.7)	1,852	67.1 (68.6)	540	19.6 (20.5)	140	2	7
	女	340	20	5.9 (8.6)	238	70.0 (70.7)	55	16.2 (15.7)	27	1	6
	計	3,100	248	8.0 (7.8)	2,090	67.4 (68.8)	595	19.2 (20.0)	167	3	13
商業科	男	1,228	211	17.2 (13.2)	628	51.1 (52.9)	348	28.3 (29.7)	41	0	2
	女	1,716	220	12.8 (13.3)	1,037	60.4 (60.7)	355	20.7 (21.1)	104	2	31
	計	2,944	431	14.6 (13.2)	1,665	56.6 (57.5)	703	23.9 (24.7)	145	2	33
家庭科	女	838	115	13.7 (11.3)	409	48.8 (53.7)	219	26.1 (25.5)	95	4	24
その他	男	337	154	45.7 (40.8)	24	7.1 (8.1)	125	37.1 (45.6)	34	0	0
	女	460	300	65.2 (65.2)	31	6.7 (6.8)	91	19.8 (21.5)	38	0	1
	計	797	454	57.0 (56.3)	55	6.9 (7.3)	216	27.1 (30.4)	72	0	1
全 日 制 合 計	男	11,815	2,962	25.1 (22.6)	4,848	41.0 (42.5)	3,295	27.9 (29.4)	710	4	30
	女	10,992	3,500	31.8 (32.8)	3,709	33.7 (33.9)	2,905	26.4 (26.6)	878	30	219
	計	22,807	6,462	28.3 (27.5)	8,557	37.5 (38.4)	6,200	27.2 (28.1)	1,588	34	249

四%と、最高を示した。(図2参照)

二 進学状況について

1 大学などへの進学(表1・2・3、図1—①参照)

大学など進学者数は、男子二千九百六十二人(進学率二五・一%)、女子三千五百人(同三一・八%)、計六千四百六十二人(同二八・三%)である。

国・公・私立大学への進学者は、男子二千八百四十三人、女子千八百二十四人であり、男子が女子を上回っている。逆に短期大学への進学者は女子が千六百六十六人で男子の八十八人を上回っている。

例年、女子の大学などへの進学率が男子を上回っているのは、短期大学への進学率が高いことによる。

大学など進学率を学科別に前年度との比較で見ると、普通科では男子が三・〇ポイント増加し、女子では一・二ポイント減少した。

職業に関する学科全体では、〇・七ポイント増加した。特に目を引くのは、商業科の男子の四・〇ポイント増加である。

また、その他の学科(理数科、文科、国際文化科、英語科、体育科)の男子においても、四・九ポイント